

## 限りある資源を 子供たちのために 残したい

この2年間、感染症対策のため野外炊飯や泊まりでの活動ができなかったのですが、今年は滋賀県高島市で3年ぶりに泊まりの活動を再開します。野外炊飯や川遊びそしてキャンプファイヤーなど、子供達が元気にはしゃぐ姿を見るのが楽しみです。

さて話はそれますが、「限りある資源を 子供たちのために 残してあげたい」と考えています。ウクライナへの侵略戦争などの影響もあって石油やガスが不足しています。一方では、人は豊かさを求めるので、今後も電気の消費も増えると考えます。さらに電気自動車の普及が拍車をかけると予想されます。

その電気もほとんどが化石燃料や核燃料で作られています。これら資源は有限で、いつかは無くなってしまいますし、二酸化炭素や放射線物質による汚染や健康被害、そして環境変動も非常に心配です。

そこで我が家では、関西に戻ってくるのを機に「年中、温度が一定の地下の空気を利用し、家の中の温度を一定に保つ家」を建てました。二酸化炭素は排出しないし、ほとんど電気を使いません。以下に原理を絵で示します。

自然エネルギーは気象に左右され不安定といわれていますが、この方式は非常に安定かつ資源を消費しません。いかがでしょうか？

